

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
財務会計論				井上 直樹	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	2 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>財務諸表は、企業外部の利害関係者に対して会計情報を提供するために作成され、私たちが企業の経営状態などを知るために必要不可欠なものである。本講義では、企業が行っているさまざまな経済活動がどのように会計処理され、財務諸表上に表示されているかをその理論的背景について理解していくとともに、実際の財務諸表をもとにその分析方法についても学んでいく。</p> <p>本講義では、企業の財務諸表を主な対象としているが、複式簿記にもとづく発生主義会計の考え方を理解することで、営利・非営利を問わず、各主体における財務会計上の問題や課題の発見につなげることを目的とする。また、問題や課題解決のために、財務会計情報を適切かつ的確に収集・分析することを目指す。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>基本的な会計理論やわが国の会計制度について理解し、財務諸表の内容から企業の経営成績や財政状態を把握できる。上場企業等が開示している財務諸表を自らの目的に応じて利用できる。</p> <p>財務諸表の理解や分析は、自分の手を動かしてようやく身に付くものであるため、特に、ビジネス会計検定試験[®]を受験する学生は、講義外において、できるだけ多くの問題を解く必要がある。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンスと財務諸表の全体像				
第 2 回	貸借対照表の構造と流動資産				
第 3 回	固定資産と繰延資産				
第 4 回	負債と純資産				
第 5 回	損益計算書の構造と売上総利益				
第 6 回	営業利益と経常利益				
第 7 回	税引前当期純利益と当期純利益				
第 8 回	キャッシュ・フロー計算書の構造				
第 9 回	キャッシュ・フロー計算書の読み方				
第 10 回	財務諸表分析の概要				
第 11 回	百分比財務諸表分析と成長性分析				
第 12 回	安全性分析				
第 13 回	キャッシュ・フロー情報の利用と収益性分析				
第 14 回	総合問題演習と解説				
第 15 回	これまでの内容のまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業ごとに前回授業内容に関する小テストを実施するため、毎回1時間程度の復習をしておくこと。</p> <p>次回講義の予習として、テキストの該当箇所を1時間程度事前に読んでおくこと。</p> <p>実際に電卓を使って問題を解くことが、ビジネス会計の理解と上達につながる。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験(80%) 講義中の小テスト(10%) 授業態度(10%)	秀：100点 - 90点 優：89点 - 80点 良：79点 - 70点 可：69点 - 60点 不可：59点 - 0点
テキスト (Textbook)	【書名】 ビジネス会計検定試験® 【著者】 大阪商工会議所 公式テキスト3級 【出版社】 中央経済社 【出版年】 2014
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	必要に応じて、講義で配布するレジュメで指示する。
備考 (Other Information)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義には、テキストおよび電卓(12桁以上、大きさ：10cm×15cm以上のものが望ましい)を携行すること。 ・私語厳禁を徹底する。 ・授業の進捗等を判断し、授業計画を変更する場合がある。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールによる予約。